

## オリエンテーリング指導者資格移行について

過去、オリエンテーリングの指導者資格は1級、2級、3級の指導員制度があり、国の動きやJOAの資格制度の見直しに伴い資格も変わってきています。以前の資格移行時、長年、協会会長を務められた**辻会長(故人)**から、「**折角の資格、移行措置ある間に移行した方がいい**」と言われたことを思い出します。

今回は、資格移行について改めておさらいし、移行に伴う研修について実際の内容等についてお知らせし、今回の措置について資格保持の方はもちろん、新規取得を考えている**会員の皆様の参考**となればと思います。

オリエンテーリングの競技規則や地図図式など毎年のように変更となります。移行・新規研修の機会に勉強してみるのも一つの**生涯学習**になります。

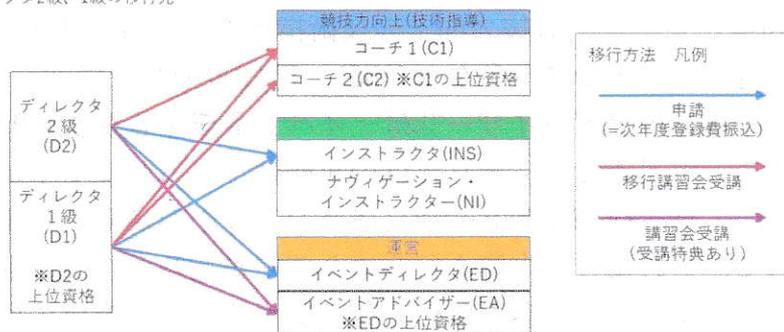
## 1 資格制度の移行概要

## (1) おさらい

現在のオリエンテーリングの指導者の資格にはJOA認定の**インストラクタ(INS)**、**野外活動団体協議会認定の野外活動指導者ディレクタ1級/2級(D1, D2)**の3種類があります。また、そのほかに大会が競技規則に則って行われるように努める**イベントアドバイザー**、**トレイル0イベントアドバイザー**、**ナビゲーション講習を支えるナビゲーション・インストラクター**の資格があります。

INS、D1、D2はオリエンテーリングの普及活動に協力し、地域におけるオリエンテーリングの指導および普及振興を図るとともに、自ら普及活動を積極的に行う資格になります。指導得者資格については、2024年度から下記のような資格に変更となる事に合わせて**2023年度末までを期限**に移行措置が取られることとなりました。別途JOAから送付済の案内により手続きをする必要があります。まだ、時間はありますので熟考してください。

ディレクタ2級、1級の移行先



## (2) 橋本会長から皆さんへ

JOA の指導員資格が新制度に変わります。2021 年から 2023 年度にかけて新制度に移行が行われます。この辺りの情報はみなさんに伝わっていると思います。ただ、迷ったまま現時点で何もしておられない方もいらっしゃると思います。ただ、この移行期間は 2023 年度で終了します。このまま何もしていないと現在の資格は廃止になってしまいます。

そうなるとこれまでオリエンテーリングの普及を底辺で支えてきた人材が大量に資格を失い、さらに、オリエンテーリングへの情熱も失い、オリエンテーリングから離れてしまうことを危惧します。指導員資格は喪失しても運転免許証と違ってオリエンテーリングができないわけではありませんが、喪失したことでオリエンテーリングから離れてしまうという確率は高いのではないかと思います。この機会に新資格へ移行されるよう強く要望したいと思います。

新資格制度はこれまで曖昧だった資格の境界が明確にされたと思います。指導員制度が最初にスタートした時は、1 級・2 級・3 級指導員という名称でした。その後の改訂で現行のディレクタ 1 級・2 級、インストラクタとなり、そして、新制度であるコーチ、イベントディレクタ、インストラクタへとなりました。指導員制度創設以来 50 年を経て全てを網羅しそれぞれの役割が明確にされました。

したがって、自分の興味や特性に合わせてどれを目指すか、何を担うかがはっきりしたと思います。それが、それぞれの県協会主催の大会や体験会、全日本リレーオリエンテーリング大会の選手強化などの場でそれぞれの資格が活かされるなら理想的であると思います。

## (3) 移行と取得への不安解消に向けて

D1, D2 保持者にとって、競技力向上の技術指導を行うコーチ 1, 2 (C1, C2) や、初心者指導を行うインストラクタ (INS)、競技規則などに則り大会運営を行うためのイベントアドバイザー (EA) ・ イベントディレクタ (ED) に重複して移行することが可能です。それだけの可能性があるわけですが、不足する知識について移行研修や WEB や独自研修を行う必要があります。皆さんの心配として、どのような内容を行うのか不安があるかと思いますので次頁以降、実際、受講した内容をお伝えし、新規取得にも繋げて頂ければと思います。

## 2 移行について

### (1) ディレクタから、インストラクタ (INS) への移行

INS は初心者指導として皆さんにとって1番身近な資格と思います。この移行については、申請し登録費振込のみで移行が可能です。但し、先にも記載しましたが、規則などの変更にも対応するための研修やWEB学習などで自己研鑽して頂ければと思います。協会として今後も、新規取得を目指す方だけでなく既取得者向けにもINS研修の機会を紹介していきます。

### (2) ディレクタから、イベントディレクタ (ED) への移行

EDは2022年4月からJOAが新設したもので、従来から大会運営されてきた方にとって、INSとともにEDは取得しておきたい資格と思います。

EDは、大会の質を保障するために、競技規則の考え方の理解を基盤に、運営組織内部で指導的な立場から実務に携わるための資格です。

EDへ移行する方は、JOAのHPにある「イベントディレクタ教材（競技規則編）」、「イベントディレクタ教材（地図図式編）」による学習をする必要があります。**自己学習**となります。登録費も必要です。

### (3) ディレクタから、イベントアドバイザー (EA) への移行

EAは、大会が競技規則に則って行われ、公正さを保証するように努める役のことであり、JOA公認EAは公認大会においてEA業務を行います。

EAは、EDの上位資格となります。登録費は不要です。

ディレクタからの移行にあたっては移行講習を受講する必要があります。下記に、橋本会長の移行講習受講レポートをお伝えします。

#### (橋本会長の移行講習を受けて)

私は、色々迷った末にこの機会にディレクタ1級からEAに移行の講習会に参加しました。動機の一つは、中田茂夫さんの引退で岐阜県在住者のEAがいなくなることに危機感を抱いたからです。EDでも十分とも思いましたが、このところ**オリエンテーリング界の進化は著しく、地図も競技ルールもどんどん変わっています**。過去の知識や経験だけで生きてきたのが、いつの間にか時代に取り残されていることを切実に感じました。

年齢的にも当座のつなぎとして頑張りたいと思いました。それとEAは登録料が不要です。代わりに4年の任期の中で研修を受けなければならないという義務があります。自分の性分からすると最新の知識を身につけるためには、ある程度強制的に勉強することがいいような気がしました。

思い立って9月に滋賀県の希望ヶ丘公園で開催された移行講習会に参加しました。定員は30名ということでしたが、実際の参加者は、リモート参加と講師を含めて9名だったと思います。大半は、資格更新のための参加で、移行講習受講者は2名、新規取得者は1名でした。

1泊2日で座学と実習で、それほど負担は大きくはありません。講座も詰め込みではなく、実際にトラブルにどう対応するかを考え意見交換から結論を導き出すというものでした。確かにEAが遭遇するトラブルは数多く、時には想定外の事態もあります。全てを把握して結論を出すということは困難かと思えます。EAの一番の使命は競技の公平性を担保することになるかと思えます。その目的に照らしてより適切な判断をするわけですから有益な研修になったと思えます。コースの点検やスプリント競技のコースプランの実習もいろいろな方の考えを聞くことで勉強にもなりましたし**オリエンテリングに対する見識や情熱に接し大いに刺激**を受けました。

資格を取ったら常に自ら研鑽をしていかないと責任を果たすことはできません。やりがいのある仕事です。自分は、今からEAになったとしても実際に公認大会のEAを委嘱される機会は、もう無いかもしれませんが、岐阜県協会の大会運営の場でも活かせるかと思えます。

自ら研鑽を積むということは、EAに限らずINSでもEDでもC1,2でも必要なことは言うまでもありません。しかし、実際は**講習会やスキルアップ研修の場はそれほど多くないのが現状**です。岐阜県協会では、インストラクタ講習会を開催しています。それを資格取得の機会だけでなく指導員のスキルアップの場と位置付けてきましたが、さらに指導者や一般のオリエンティアにも呼びかけ充実させていきたいと考えています。

#### **(2023年度 岐阜県協会ではEA・ED研修会開催予定)**

橋本会長の報告にもあったように、スキルアップ研修の場は、それほど多くない一方で、オリエンテリング界の進化は著しく、地図も競技ルールもどんどん変わっています。この何年間、県協会が主催することとなっているインストラクタ講習会を行ってききましたが、2023年度は、**EA・ED向けの講習会を開催**したいと検討しています。EA研修の講師でもあり、当協会理事でもある広江さんをはじめ講師の方を招いた講習会を下記のように開催出来ればと考えています。EA・EDの資格は考えていない方でも、現状で最新の規則などを学んで頂ければと考えています。

予定としては、  
開催日程 2023年夏開催に向けて日程調整中  
場 所 下呂市にあります南飛驒健康増進センター  
資格に関わる方については1泊2日ですが、資格取得を目指さない方は、半日単位などでの参加も可能にしたいと思いますので、予定しておいてください。

## (2) ディレクタからコーチ1,2(C1,2)への移行

C1・C2は公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）の公認スポーツ指導者制度によって認定された資格です。スポーツ指導者としての基本的なスキルを身につけたうえで、オリエンテーリングの初心者からエリートクラスまでの、幅広い競技者を指導し、競技力の向上を担う人材を育成します。

コーチに移行するためには、**JSP0が設定する共通科目**と**JOAが設定する専門科目の講習会**を受講しなければなりません。下記に、牧ヶ野事務局長の移行講習受講レポートをお伝えします。

### （牧ヶ野事務局長の移行講習を受けて）

私の場合も、ディレクタからどう移行するか考えました。初心者指導や大会運営は協会の事業において必要と思いましたが、コーチについてはどうか、移行の中でも1番遠い移行資格ではないかと思いました。

ある方と話をしていたら、「競技者指導の役割を担うコーチだけど、コーチについて学ぶことは自分への競技指導にも繋がるから自分のために学べば」のアドバイスを受け、受講することにしました。

**JSP0が設定する共通科目**は、自宅で自主学習となります。受講申込をすると自宅に約400頁に及ぶテキストが送付されてきます。これは、コーチ1と2に共通するテキストになるため、必要なページを学習することになります。内容としては、コーチング、スポーツ指導者の法的責任、倫理、体力・スキル・心のトレーニング、アンチドーピング、スポーツマネジメントなどで、コーチとして知っておくことはもちろん、一般の競技者にとっても大切な内容が含まれているので、とても勉強になりました。このテキストを学習した後、100問のマークシート選択式の課題を提出することになります。課題については、テキストを読むのと並行して課題に答えていけば良いので、そんなに**難しいものではありません**。テキストに答えが書いてあると言っていいです。

もう一つ JOA が設定する専門科目については、講習会を受講しなければなりません。新規取得の方は、web での講習会を受講する必要があります。また、新規・移行の方を集めた集合講習は1泊2日で開催されます。

私の場合は、静岡の朝霧野外活動センターで受講しました。

受講前には事前課題の提出が必要であり、内容は、「安全に練習会を行う為に準備すべきこと」、「競技者としてのルールとマナー」や「競技特性と指導者の役割」をレポートにして提出するものでした。

講習会では、村越真さん、小泉成行さん、松澤俊行さん、吉田勉さんが講師を務められ、「ルールと安全確保」、「様々な環境・形式への対応」、「基本技術」、「コースプラン」、「様々な環境・形式への対応屋外実習」、「技術を支える心と体」について、グループワークや実技を交えて行いました。

受講者は、学生から経験豊富なオリエンティアだけで無く、これから子ども達に教えていきたいという女性など8名の受講生でした。

講習会后、事後課題として「講習で学んだこと」、「学んだことを今後どう活用するか」、「指導者としての今後の計画」についてレポートを提出しました。

JSP0 が設定する共通科目も、JOA が設定する専門科目の講習会の内容も自分にとって仮想の競技者を指導するものでしたが、自分にとって必要なことが多く、本来のコーチとしての実務の場面は少ないかも知れませんが、その意識を持てたことは、今後の自分にとって有意義なものになりました。

### 3 まとめとして

先にも記載しましたが、資格取得者の皆さんは保持している資格を有効に活用し移行して頂ければと思います。移行についてわからないことも多かったため、2022 年度において既に、INS への移行や資格放棄された方について、今回の内容を参考に資格移行について検討して頂ければと思います。

なお、JOA から連絡あったかと思いますが、**今年度（2022 年度）ディレクターから INS に移行された方**については、ED に移行することも可能であり、また、**今年度手続きをされなかった方**については今年度分の登録料を支払っていただければ、INS、ED に移行可能であるとのことです。また、**昨年度以前から手続きをされていない方**には連絡していないとのことなので、こちらの方も未納分を支払って頂ければ、同様に移行可能となるとのことなので、希望があれば JOA 事務局に連絡してください。